

加古川市公共施設等総合管理計画
(追補版)

令和4年3月

加古川市

加古川市公共施設等総合管理計画

目 次

第1章 計画の背景と目的

1	背景と目的	1
2	計画の位置づけ	2
3	計画期間	2
4	対象施設	2

第2章 公共施設等を取り巻く現状と課題

1	人口状況	3
	(1) 人口の推移と見通し	3
	(2) 地域別人口の推移と見通し	4
2	財政状況	5
	(1) 歳入の推移と見通し	5
	(2) 歳出の推移と見通し	6
3	公共施設等の総量及び更新等に係る経費の見込み	7
	(1) 公共施設	7
	① 保有状況	
	② 年度別整備状況	
	③ 更新等に係る経費の見込み	
	(2) インフラ資産	11
	① 道路延長の推移	
	② 橋梁の年度別整備状況	
	③ 上水道管の年度別整備状況	
	④ 下水道管の年度別整備状況	
	⑤ 更新等に係る経費の見込み	

【追補】(3) 更新等に係る経費の概況	14-2
---------------------	------

4	地域における公共施設の状況	15
	(1) 配置状況	15
	(2) 地域実態マップ	16
5	公共施設を構成する建築物の状況	19
	(1) 規模と構造	19
	(2) 構造躯体の評価	20
	(3) 劣化状況	21
6	公共施設の維持に関する市民意識	22

第3章 公共施設におけるマネジメントの方針

1	課題解決のための考え方	23
	【追補】ユニバーサルデザイン化の推進等	23-2
2	基本方針	24
3	具体的な取組内容	25
	(1)「統廃合・複合化」の推進	25
	① 統廃合・複合化のイメージ	
	② 統廃合・複合化の検討フロー	
	(2)「長寿命化」の推進	27
	① 目標とする耐用年数	
	② 保全の考え方	
	③ 保全対象部位と対応手法の設定	
	④ 点検体制の構築	
	⑤ 削減効果の試算	
	(3)「行政改革」の取組との連携	34
	① 民間活力の活用	
	② ライフサイクルコストの削減	
	③ 経営目線での管理運営	
	④ 有料広告事業の導入	
4	公共施設の総量の削減目標の設定	35
	【追補】●これまでに行った対策の主な実績	37-2
	●施設保有量・有形固定資産減価償却率の推移	
5	マネジメント推進のための体制	38

第4章 インフラ資産におけるマネジメントの方針

1	基本方針	39
2	具体的な取組内容	39
	(1) 道路に関する取組	39
	(2) 橋梁に関する取組	39
	(3) 上水道に関する取組	40
	(4) 下水道に関する取組	40

第5章 施設類型別における公共施設の方針

(1) 市民文化系施設	41
(2) 社会教育系施設	41
(3) スポーツ・レクリエーション施設	42
(4) 産業系施設	42
(5) 学校教育施設	43
(6) 子育て支援施設	43
(7) 保健・福祉施設	44
(8) 行政系施設	44
(9) 市営住宅	45
(10) 公園	45
(11) 供給処理施設	45
(12) その他	46
(13) 複合施設	46

第2章 公共施設等を取り巻く現状と課題

3 公共施設等の総量及び更新等に係る経費の見込み

(3) 更新等に係る経費の概況

(単位：百万円)

	H29 年度		H30 年度		R1 年度	
	一般会計等	全体	一般会計等	全体	一般会計等	全体
公共施設等 整備費支出	4,881	8,563	4,805	8,252	8,447	11,599
維持補修費	765	1,040	761	1,069	803	1,085
合計	5,646	9,603	5,566	9,321	9,250	12,684

※加古川市財務書類より関連項目を抜粋。上下水道施設等のインフラ資産に係る経費も含んでいます。

※公共施設等整備費支出：資金収支計算書より。有形固定資産等の形成に係る支出。

※維持補修費：行政コスト計算書より。資産の機能維持のために必要な修繕費等。

第3章 公共施設におけるマネジメントの方針

1 課題解決のための考え方

公共施設の修繕や更新の際、「ユニバーサルデザイン2020 行動計画」（平成29年2月20日ユニバーサルデザイン2020 関係閣議会議決定）を踏まえ、障害の有無、年齢、性別、言語等にかかわらず多様な利用者を考慮したユニバーサルデザインに配慮します。

同時に、「第3次加古川市環境基本計画」（令和3年3月）、「加古川市環境方針」（令和3年4月）及び、本市で表明している「加古川市気候非常事態宣言」（令和3年6月）、「加古川市ゼロカーボンシティ宣言」（令和4年2月）に基づき、公共施設の新設・改修にあたり、再生可能エネルギー設備、LED 照明、省エネルギー型設備、蓄電池等を積極的に導入することで、脱炭素化の取組を進めます。

また、「加古川市総合計画」（令和2年12月）では、持続可能な開発目標（SDGs:Sustainable Development Goals）の考え方が取り入れられており、SDGs の理念や目標等を関連付けた市の施策の実施や、SDGs の周知・啓発に取り組んでいます。本計画においても、公共施設等の更新や再配置を検討するにあたり、11 番目のゴールである「住み続けられるまちづくりを」などを目指した取組を推進します。

4 公共施設の総量の削減目標の設定

●これまでに行った対策の主な実績

統廃合・複合化	<ul style="list-style-type: none"> ■ しかたこども園（しかた幼稚園・しかた保育園を統合）〔H29〕 ■ 川西こども園（川西幼稚園・川西保育園を統合）〔H30〕 ■ 東神吉こども園（東神吉幼稚園・東神吉保育園を統合）〔R1〕
長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各幼稚園・小学校・中学校〔H28-R3〕 ■ 総合福祉会館〔H29〕 ■ 陸上競技場〔R1〕
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ （旧）加古川東市民病院の解体〔R1〕 ■ アクア交流館の廃止〔H30〕 ■ 知的障害者総合支援センターの民間移管〔R2〕 ■ （旧）看護学校の建物解体条件付土地売却〔R3〕 ■ 加古川図書館の民間商業施設内への機能移転〔R3〕 ■ 東はりま夜間休日応急診療センター （加古川夜間急病センターを移転・休日診療を追加）〔R3〕

●施設保有量・有形固定資産減価償却率の推移

年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
施設保有量(m ²)	688,458	676,934	667,847	667,154	667,584
削減率(%)	—	1.7	3.0	3.1	3.0
有形固定資産 減価償却率(%)	54.40	55.90	57.60	59.20	—

※有形固定資産減価償却率：市が保有する施設等が耐用年数に対して資産取得からどの程度経過しているかを把握し、資産の経年の程度を把握することができます。（割合が大きいほど老朽化が進んでいると判断されます。）